

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2000-342544(P2000-342544A)

【公開日】平成12年12月12日(2000.12.12)

【出願番号】特願平11-157201

【国際特許分類】

A 6 1 B	5/00	(2006.01)
A 6 1 B	5/04	(2006.01)
A 6 1 G	12/00	(2006.01)
G 0 8 B	25/08	(2006.01)
H 0 4 M	3/42	(2006.01)
H 0 4 M	11/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	5/00	1 0 2 C
A 6 1 B	5/04	Z
A 6 1 B	5/04	Q
A 6 1 G	12/00	E
G 0 8 B	25/08	C
H 0 4 M	3/42	Z
H 0 4 M	11/04	

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】患者の居所に設置する端末装置により患者からの通信を受信する受信手段と、前記患者を識別する患者識別手段と、識別された前記患者に対して対応可能な医師を選択する医師選択手段と、前記患者の医療情報データを前記医師に送信する送信手段、転送手段、とを有する医療情報通信システムであって、前記送信手段が、前記医師選択手段にて選択された医師への連絡先を前記患者へ送信するものであり、前記転送手段は、前記患者からの通信を前記医師選択手段にて選択された医師へ転送するものであり、

前記端末装置は、第1の回線番号を記憶する第1記憶手段と、接続先からの送信データを記憶する第2記憶手段と、回線の接続・切断処理およびデータ送受信処理を行う回線制御手段とを備え、前記回線制御手段は、操作者の操作により、前記第1記憶手段に記憶された回線番号に発呼処理を行い、また、接続先からの送信データを前記第2記憶手段へ送り、前記第2記憶手段に記憶された回線番号に発呼処理を行うことを特徴とする24時間連携体制の医療情報通信システム。

【請求項2】前記医師選択手段が、前記患者の担当医師が対応可能か否かを判別し、前記担当医師が対応可能な場合は該担当医師を選択し、前記担当医師が対応不可の場合は対応可能な第2の医師を選択することを特徴とする請求項1に記載の医療情報通信システム。